

5月23日(土)～24日(日) いちき串木野市荒川交流センター



荒川ほたるでナイト

問い合わせ先

いちき串木野市荒川交流センター
☎0996 (32) 8809

荒川川の清流にホタルが乱舞するこの時期に開催される地元手作りのイベント。伝統芸能「びょうびょう祭り」や荒川小学校児童による荒川太鼓の披露、地元産野菜などの販売も開催。地元婦人会の手作りの夕食販売(要事前予約)もあります。

6月7日(日) いぶすき 指宿市山川港水揚げ場およびその周辺



山川みなと祭り

問い合わせ先

菜の花商工会開聞支所
☎0993 (32) 4780

港の繁栄と航海の安全を祈願して開催されます。船団パレードや街頭パレード、祝賀演奏会などさまざまな催しで賑わいます。また、前日には夜空と水面に大輪の花を咲かせる花火大会も開催。指宿の熱い祭りにぜひご来場ください。

6月7日(日) 東串良町総合体育館および多目的広場



東串良ピーマン狩り & 農業祭

問い合わせ先

JA鹿兒島きもつき東串良支所
☎0994 (63) 9299

東串良町の特産品でもあるピーマン。ピーマン狩りで農業体験が楽しめる他、新鮮野菜や牛肉・豚肉が市価よりも安くで販売される。そのほか会場では、バザーなどさまざまなイベントも行われる。

EVENTS INFORMATION

イベント情報

2015年

5~7月

MAY >>>>>> JULY



5月16日(土) 薩摩川内市鹿島港フェリー桟橋および西海岸



鹿島ウミネコまつり

問い合わせ先

鹿島地区コミュニティ協議会
☎09969 (4) 2215

鹿島町のウミネコは、繁殖のため飛来することでよく知られ、また、南限の営巣地である鹿島断崖一帯は、奇岩などが多く風光明媚な景勝地として知られています。当日は漁船からウミネコの餌付け体験や西海岸のクルージングを楽しむことができます。

5月中旬から6月中旬

伊佐市忠元公園



ミヤマキリシマ開花

問い合わせ先

霧島市観光協会
☎0995 (78) 782115

坂本龍馬と妻のお龍も新婚旅行のときに見たというミヤマキリシマが見頃を迎えます。開花時期は例年、高千穂河原が5月中旬～5月下旬、えびの高原が5月下旬～6月上旬、韓国岳山頂が6月上旬～6月下旬です。

広告

6月21日(日)

始良市加治木福祉センター



始良市加治木町 くも合戦

問い合わせ先

加治木地域振興課
☎0995 (62) 2111

島津義弘公が文禄・慶長の役(1592年～1598年)に参戦し、その陣中で兵士を鼓舞するためにコガネグモを集めて戦わせたのが始まり。毎年6月第3日曜日に開催され、海外から取材を受けるなど広く注目を集めています。

6月7日(日)

日置市吉利丸神社、日置八幡神社、日吉運動公園



せつぺとべ

問い合わせ先

日置市役所日吉支所地域振興課
☎099 (292) 2112

「精一杯跳べ!!」を語源とする、日吉地域の「せつぺとべ」。約420年以上の歴史を持つ地域独特の伝統行事です。県内外から多くの観客が訪れる「せつぺとべ」。若者たちが泥だらけになりながら飛び跳ねる姿は圧巻です。

7月4日(土)

屋久島町一湊海水浴場



世界遺産屋久島 オープンウォーター スイミング

問い合わせ先

世界遺産「屋久島」OWS
実行委員会
☎03 (6205) 7591

屋久島の透明度の高い海で、たくさんの魚やウミガメを見ながら泳ぐことができます。また、泳ぎ終わった後は、屋久島の海の幸を味わえるフェアウエルパーティもあります。世界遺産の島で泳ぐ喜びを堪能、屋久島の良さを感じてください。

6月7日(日)

さつま町二渡水辺公園



第9回 川内川鮎まつり

問い合わせ先

川内川漁業協同組合
鮎まつり事務局
☎0996 (53) 0443

毎年6月1日の鮎漁解禁に合わせて開催。当日は約3000匹の鮎が用意され、塩焼きを楽しめる。そのほか会場では、ニジマスのつかみどり、魚の体験放流、地元農産物の販売など盛りだくさん。旬の鮎を味わいに、ぜひさつま町へ。

7月4日(土)～8月31日(月)

阿久根市阿久根大島



阿久根大島 海水浴場海開き

問い合わせ先

日本水泳振興会
☎0996 (72) 5920

阿久根市街地の沖合に浮かぶ島で「日本名松100選」や「日本の快水浴場100選」に認定された風光明媚な島です。また、島内には約130頭の野生鹿が生息し、観光客を出迎えてくれます。海水浴だけでなく、キャンプや釣り体験など、楽しみ方もいっぱいです。

6月上旬～下旬

徳之島町花徳・轟木・手々地区



豊年祭り

問い合わせ先

徳之島町地域営業課
☎0997 (83) 4111

町内の3つの地区で行われる豊年祭り。五穀豊穡への感謝と豊作祈願の行事として戦後から続けられ、地域の絆を深める祭りとして保存継承されている。地元青年団の力強い神輿や子ども神輿は必見。各地区の開催日については確認を。

広告